

1 事業名

水辺の景観・歴史・文化を再考する住民参加型ワークショップ

2 事業概要

草津市内でも琵琶湖に面している「老上西学区」を主な事業対象として、都市化の中で失われた「水辺に暮らす歴史文化を再考」や、これからの新しい未来に向けての「魅力的で豊かな水辺の暮らし方」について住民と共に検討する

3 事業内容

※欄が不足する場合は、別紙（A4版縦型）を追加してください。

社会実験の必要性

琵琶湖総合開発事業や都市化に基づく開発などを契機として、かつての親水空間は変容し、消滅しつつある。この地域には矢橋港をはじめとする親水空間の遺構が残り、それらの記憶が残っている住民がいる。それらの場所・歴史文化・記憶等を今一度抽出し、「水辺に暮らす歴史文化を再考」や、これからの新しい未来に向けての「魅力的で豊かな水辺の暮らし方」について住民と共に検討することにより、消えつつある中で残してゆくべきものの整理し、生かしていく必要がある。一連の活動が結果的に草津市の魅力向上に寄与するものと期待できる。

実施場所

- ・滋賀県草津市老上西学区とその周辺（老上西まちづくりセンターを含む）
- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（情報収集）
- ・NPO 法人琵琶湖ネット草津事務所（ワークショップ会場）

実施方法

本対象地区の歴史的な写真や地図の収集（例：矢橋の明治期地積図・住民所蔵の史料等）と、地区の歴史に詳しい草津市観光ボランティアガイド協会や地区住民へのインタビュー調査、集められた歴史的なまちの記憶に基づく、住民参加型ワークショップを通じた水辺の魅力的なライフスタイルのアイデア会議の実施

実施内容

矢橋港跡を中心とする遺跡公園を中心とした水辺の空間まちづくりや老上西学区の地域再生計画づくりに向けて、本地区における特に水辺に関連する歴史文化的資源を調査し、その内容を基に住民が地域愛着を持ってまちづくりに取り組んで頂ける契機となる住民参加型のデザインワークショップを開催した。



効果測定の指標等測定方法

収集資料・ヒアリングデータや、ワークショップにて取りまとめた資料をもって効果測定・指標等測定に代える。なお、ワークショップにおいては、抽出した歴史・文化・景観を保存の度合い・利用方法（修復・保護 or 活用）の二軸を用いて分類し、具体的方策を検討した。

対象者や人数

- 都市地域デザイン研究室代表 1 名
- 都市地域デザイン研究室学部 3・4 回生 6 名以上
- 住民ワークショップ参加者 12 名
- ヒアリング実施者複数名（住民・文化財に関わる関係者等）

実施のための費用

人件費及び、消耗物品の補充等

実現のための課題

社会実験後、課題として抽出されたものを挙げる。

- 人々の記憶が薄れ、今現在の生活が当たり前に変容しつつある中での、かつての老上西の記憶・資料の継承
- 成果物に基づく活動の具体的な課題が抽出されたこと。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。（カラー可）

4 事業のねらい、目標に対する到達度の自己評価

ねらい、目標

本事業の対象地域である矢橋は、急がば回れのルーツとなる近江八景の矢橋帰帆の場所であり、びわこ東海道景観基本計画で定められている魅力ある対岸形成を目指して、烏丸半島に並んで矢橋帰帆島が定義されている。その一方で、まだこの地域は観光の目玉になれるような景観的な魅力はともかく、地域の住民からも水辺の利用がなくなりつつある。

近江八景といった潜在的な資源を活かした地域の魅力創出に向けた第一歩として、地域歴史文化（有形＋無形）を再考し、その可能性を地域デザインの側面から探っていくことが本事業の狙いである。

草津市の第6次総合計画で取り上げている水産業の振興、観光の振興、良好な景観の保全と創出に向けた事業として位置づけ、失われつつある素敵な琵琶湖と暮らす地域文化を学び直し、これからの新しい時代においても踏襲が可能な真なる地域文化を継承することを目標として、地元住民とのワークショップを開催したい。

到達度の自己評価

潜在的資源の創出、かつての記憶・文化・歴史等の抽出とそれらを再考する機会の醸成という目的にたいしては一定の成果が得られたと思慮される。ワークショップやヒアリングを通して、本活動における新たなステークホルダーとなりうる人物をリストアップすることにもつながった。まなびなおし・ワークショップの実施自体がねらい・目標となっているため、達成したとの評価はできる一方、次のステップたる成果を利用した活動展開は、来年度以降となる。本活動は本事業をもってスタートラインに立ったとの認識である。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。（カラー可）

5 草津市が支援した事項

今回の事業実施にあたり、草津市に依頼した事項について○をつけてください。

- () アーバンデザインセンターびわこ・くさつを研究拠点として提供
- () 草津市の公共施設の先行予約、施設および附属設備の使用料の減免
- () 公共施設へのチラシおよびポスターの設置依頼
- () 市ホームページ、UDCBKのFacebookでの事業の周知
- () その他 ※具体的に記載してください

[住民ワークショップ開催に向けた地区住民への参加要請など]

6 事業の実施期間

令和 4 年 6 月(委託日) ~ 令和 5 年 2 月 28 日